

# プロジェクターにつなぎ拡大表示したものに書き込む

小・義（前期課程）5年 算数「割合とグラフ」

2～3人で1台使用

## 本時の目標

各部分の割合を求めて、帯グラフと円グラフに表すことができる。

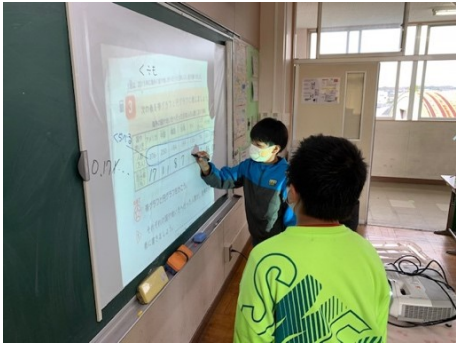
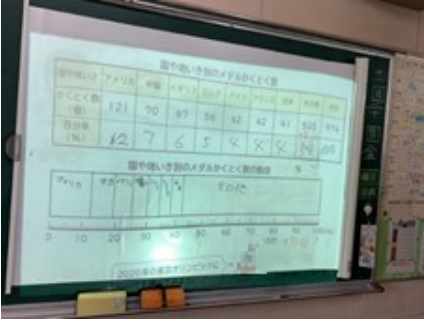
## タブレット端末を活用するねらい

拡大した表に児童が値を書き込み、その表をもとにグラフのかき方を確認する。

## 育成を目指す情報活用能力

- ・ 目的に応じた表やグラフを用いた情報の整理の方法（知識・技能）
- ・ 目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を組み合わせながら情報収集し、目的に応じた表やグラフ、「考えるための技法」を適切に選択・活用し、情報を整理する。（思考・判断・表現）

## 〔学習の実際〕

	学習場面の概要	学習の様子またはタブレット端末画面
導入	1 割合の出し方を確認し、本時の課題をつかむ。 帯グラフや円グラフに表すためには、どうすればよいだろうか。 ◎ 表を映し出す。	 資料に書き込んでいく。
展開①	2 黒板に映し出した表をもとに、各国の割合を出す。 ◎ 割合を書き込んでいく。	
展開②	3 求めた割合を円グラフと帯グラフに表す。 各自、グラフに表していく。 ◎ 黒板に映し出したグラフに書き込ませる。	
まとめ	4 練習問題を行い、本時のまとめをする。 割合を百分率にして、帯グラフや円グラフにする。	書き込んだものを使ってまとめを行う。

## ○ 児童生徒の変容（感想・授業中の様子・発言）

- ・ 全員で確認ができることで理解が深まった。
- ・ 前で書き込みを行う児童は間違っても直すことができるので安心して書き込むことができた。

## ○ 活用する上でのポイント

- ・ グラフは目盛りを拡大するなどしながら確認と説明をしながら書き込んでいくとより理解が深まる。
- ・ 書き込み方の指導をしておくと、スムーズに進められる。